

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 9 月 25 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科マネジメントコース
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2025 年 8 月 31 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2025 年 5 月～2025 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	4 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月中旬～12 月下旬 2 学期: 1 月中旬～5 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	45882 人
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (\$) (1 現地通貨 = 149 円)	B 日本円	備考
授業料	6150	円	
宿舍費	7380	円	
食費	250	円	
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	99.45	円	
現地交通費	0	円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	700	円	
旅費(留学中)	6700	円	
被服費	0	円	
医療費	0	円	
保険費		37090 円	形態: 東京海上日動
渡航旅費		130185 円	
ビザ申請費	535	円	
雑費	100	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	21914.65 (=3272660 円)	167275 円	
総計(A+B) ※円		3439935 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：サンフランシスコ 経由地：なし

復路 出発地：サンフランシスコ 目的地：成田 経由地：ホノルル

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：ZipAir 料金：69501 円

復路 航空会社：Hawaiian, ZipAir 料金：60684 円 ∴合計：130185 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：Google フライト、Trip.com)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：International House) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

先輩からの口コミ

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

International House という寮に滞在しており、その中で非常に多くの親友と呼べる友達ができた。多少割高だが、3 食ついていて友達ができる機会(寮主催のイベントや集まれるホールなど)を考えると強くおすすめしたい。一方で、他にもアパートやフラティニティもあるのでそちらも調べた上で決めて欲しい。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省からのメールで収集していたが、治安の問題は感じなかったため、特に防犯対策はしなかった。また、トラブルはなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の Wi-Fi が寮まで使えた。街のほとんどで Wi-Fi が使えたため困らなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本のクレジットカードを使用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

お土産や空腹時に食べる日本食

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

2 月頃銀行振込とクレジットカードで払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。	
10 単位		☒ 12 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限			
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:			
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。			
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Leading People		組織行動論	
科目設置学部・研究科	Haas Business School		
履修期間	6 週間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回		
担当教授	Janet M Brady		
授業内容	Key Dates: •Midterm: June 12 •Case Write-up: June 19 •Capstone Presentations: June 26 & July 2 •Final Exam: July 3 Topics (covered in sessions, supported by slides/chapters): •What is Organizational Behavior •Diversity in Organizations •Attitudes and Job Satisfaction •Personality and Values •Motivation (Concepts and Applications) •Communication •Leadership •Organizational Culture		
試験・課題等	Participation (10%): Active engagement in lectures, cases, exercises, videos; insightful contributions expected. One unexcused absence allowed. Exams (40%): Midterm (20%) and Final (20%), multiple choice/true-false, based on readings, lectures, discussions. No make-ups. Team Project - Organizational Encounter (30%): •Written report (15%) + Group presentation (15%). •Involves choosing an organization, interviewing employees, analyzing leadership/OB issues, and presenting findings. •Includes an individual concise write-up. Case Analysis (15%): Written analyses of assigned cases. RPP (5%): Reflection or participation-related points		

感想を自由記入	この授業では、毎回のディスカッションに積極的に発言し、自分の考えを共有することで理解を深めるよう努めた。また、グループワークにおいては、自分だけで抱え込まずにわからない点を素直に仲間に聞き、意見交換を重ねながら理解を補い合った。その結果、メンバーと協力して課題を進めることができ、最終発表に向けて自信を持って準備を整えることができた。さらに、中間試験や期末試験に備えて膨大な量の資料を繰り返し読み込み、暗記する努力を重ねたことで、知識を体系的に整理し、理解をより一層深めることができた。これらの経験を通じて、主体的に学ぶ姿勢とチームで成果を高める大切さを実感した。
---------	--

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Societies and Cultures	世界の社会と文化
科目設置学部・研究科	Undergraduate
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Jesi Faust
授業内容	Week 1: Imagining the End - Plague, Religion, and the Gothic Week 2: Zombies and Empire - Colonial Hauntings and Global Institutions Week 3: Spirits, Machines, and Resistance Week 4: Apocalypse in Japan - Nuclear Memory and State Violence Week 5: Biohazards, Borders, and the Necropolitical State Week 6: Rebirth and Ruin - Ecological Futures and Feminist Survival.
試験・課題等	Reading Reflections (20%): Short in-class reflections at the beginning of sessions with assigned readings. Exams (20%): Online, timed short-answer analytical essays. Makeup requires official documentation. In-Class Assignments & Participation (40%): Includes film worksheets, discussions, and Poll Everywhere activities. Lowest two scores dropped; make-ups only in exceptional cases. Final Project (20%): Conduct and record at least three interviews on apocalyptic imagination, write an analysis paper connecting interviews with academic sources.
感想を自由記入	毎回の授業に向けて予習してくる範囲が非常に広く、読み込むだけでも大変だった。その上で、授業内では予習範囲のテキストに加え、上映される映画を題材に自分の意見を求められることが多かったため、ただ内容を理解するだけでなく、自分なりの視点を持ち、英語で発信する力が問われた。最初は発言することに苦労したが、繰り返し準備を重ねることで徐々に自信を持てるようになり、最終的には積極的に議論に参加できるようになった。この過程を通じて、幅広い知識を吸収する力だけでなく、自分の考えを的確に言葉にして伝える力も鍛えることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Negotiation and Conflict Resolution		交渉と紛争解決
科目設置学部・研究科	Haas Business School	
履修期間	5 週間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 3 回	
担当教授	Timothy M. Dayonot	
授業内容	Classes cover: • Introduction to negotiations, interests, BATNA & Reservation Value (RV), preparation methodology, and value creation. • Key negotiations (Unique Jaguar, Sally Soprano, Oil Pricing Game, Landsale, PowerGraphics, Batmobile, Publishing Company, Domain Name, Discount-Hawkins, email negotiations, PG&E, Danger in the Water, The Red Zone, Salary negotiations). • Topics include: bargaining styles, cooperation & trust, communication & negotiation process steps, resolving disputes, standards, anchoring/ZOPA, concessions, tricks & ploys, strategic communications, multi-issue negotiations, contingency agreements, mediation, alternative dispute resolution, and public policy negotiations. • Exercises include video decoding ("Sluggers Come Home"), in-class simulations, group preparations, and role-plays.	
試験・課題等	re-negotiation preparation sheets (graded). Post-negotiation reflections (graded). Occasional non-graded assignments (penalties for non-submission). Videotaped negotiations (selected occasions). Group exercises and diagnostic self-assessments. Take-home final exam (distributed last class, due via email one week later). Attendance and active participation required.	
感想を自由記入	この授業を通じて特に頑張ったのは、膨大な講義内容を理解することに加え、数多くの交渉実践に取り組むことだった。単に知識をインプットするだけでなく、その場で相手と交渉するアウトプットが常に求められたため、精神的にも大きな負荷があった。具体的には、授業では B5 程度の紙に交渉の役割や背景が記された資料を配られ、数分という限られた時間で読み込み、自分の立場や相手の利害を整理しながら戦略を練らなければならなかった。しかも、その戦略は講義で学んだ理論やフレームワークを踏まえて組み立てる必要があり、知識と実践を瞬時に結び付ける力が求められた。最初は慌ただしさに戸惑う場面も多かったが、回を重ねるうちに短時間で要点を把握し、優先順位をつけて交渉に臨む姿勢を身につけることができた。この経験は、自分の弱点や思考の癖を意識するきっかけにもなり、交渉に対する苦手意識を克服する大きな学びとなった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

内定先のイベント

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

沢山の情報が手に入るからこそ、自分の目で見ても耳で聞くことを大切にしてください。なんとなくのイメージで自身の可能性を狭めてしまうことはもったいないです。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	無し
	4 月 ～ 7 月	英語の勉強
	8 月 ～ 9 月	無し
	10 月 ～ 12 月	留学の検討・応募
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学先へ出願、寮の手配、履修登録
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請、航空券取得、留学開始
	8 月 ～ 9 月	帰国
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

「迷ったらやる。」この考え方に共感できる人に、留学を強く勧めたいです。留学で得られる体験はすべて自分の行動次第であり、必須の経験ではなく、自らの意志で決断するものです。だからこそ、挑戦したいという気持ちを大切に、行動に移してやり遂げてください。今は内気で優柔不断だと感じている人でも、一步を踏み出す勇気さえあれば、留学を通じてその勇気は確信へと変わり、将来を支える大きな力になります。さらに忘れてほしくないのは、留学は多くの人に助けられて成り立つという点です。自分が支えられたように、誰かに恩を返す気持ちを持ちながら挑戦してください。私は UC Berkeley を選んで本当によかったと思っています。世界中から優秀な学生や教授が集まる環境で質の高い教育を受けられただけでなく、街としても非常に過ごしやすく、学業と生活の両面で充実した時間を送ることができました。困難もありましたが、すべての経験が私にとって宝物となり、これから大きく羽ばたくための翼になったと確信しています。